

図書だより 7月号



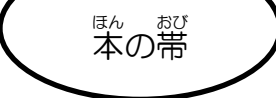
学校図書館司書 今井真子

まいにちあつ ひ つつ 毎日暑い日が続きますね。外で遊べないときは、ゆっくりと本でも読みましょう。

さて、6月は、読書月間でした。たくさん本は読みましたか？ どくしょノート

どくしょ 読書ノートも書きましたか？ 1年生も読書ノートがはじまりまし

た。読んだ本は、わすれずに書いていきましょう。



本の帯の締め切りは、7月11日（金）です。書いている人は、早めに

だ 出してくださいね。



どくしょかんそうぶんかだいとしょ しょうかい 読書感想文課題図書で紹介 (2回目)



『ふみきりペンギン』 おくはら ゆめ 作・絵 (3・4年生用)

小学3年生のゆうとは、ふみきりでペンギンの話を聞く。るりは白いヘビのうわさを確かめたい。ほかの子も、色々ふしぎな体験をしている……。でも、へんだなって決めつけず、気にしないで、相手も自分もみとめ合うおはなしです。

『たった2℃で・・・地球の気温上昇がもたらす環境災害』

キム・ファン 文 (3・4年生用)

気温が2℃上がると、地球で暮らす生き物みんなの命があぶない。植物も動物もあなたもわたしも。いっしょに考えよう。

『ぼくの色、見つけた！』 志津 栄子 作 (5・6年生用)

信太郎は生まれつき、みんなと同じようには色が見えない。クラスメイトから似顔絵のくちびるを茶色にぬったことをバカにされ、すっかり自信を失っていた。でも、新しい担任の先生が自分自身に向き合ってくれたおかげで、自分の目のとらえ方がすこしずつ変わっていった。

『森に帰らなかったカラス』 ジーン・ウィルス 作 (5・6年生用)

生き物好きの少年ミックは、近所の森でニシコクマルガラスのひなを保護して、育てることになった。ジャックと名付けられたひなは大きくなり、近所の人気者になっていくが……。動物園の飼育員の少年時代のほんとうにあったことをもとにした物語です。

『マナティーがいた夏』 エヴァン・グリフィス 作 (5・6年生用)

11歳の夏休み、ピーターの目標は「生き物発見ノート」を友達と完成させることと、マナティーの話をしてくれた認知症のおじいちゃんのお世話をすることだった。でも、思い通りにはいかなかった。自分の力ではどうすることもできない変化に向き合う勇気をくれる、成長物語です。

『とびたて！ みんなのドラゴン 難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険』

オザワ部長 著 (5・6年生用)

内気で人前で話すことができないマナミが通う小学校には、ただひとつの部活動、合唱部がありました。全国大会で金賞をとる目標にむけて頑張るようすを見て、自分を変えたいマナミは入部を決意します。でも4月から顧問になった先生には、ある秘密がありました。2022年、福岡県北九州市の小学校の合唱部を舞台にしたノンフィクションです。

